

さまざまな分野で活躍する子どもたちを紹介します。



おめでとう

全日本ペン書道展大賞・準大賞

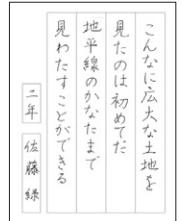
※掲載情報は8月18日現在です。



#050 Midori Sato

佐藤 緑 さん (右)

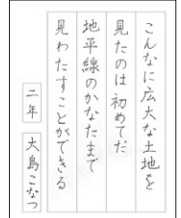
比布中央学校 8年生



#051 Konatsu Ohshima

大島 こなつ さん (左)

比布中央学校 8年生



比布中央学校8年生の佐藤緑さんと大島こなつさんが、8月2日から4日に開かれた「第88回全日本ペン書道展」児童・生徒の部（硬筆部）で、輝かしい成績を収めました。佐藤さんは大賞の日本書写技能検定協会理事長賞、大島さんは準大賞を受賞。全国から205人が応募した中学2年生部門の中で、大賞に選ばれたのは7人、準大賞は6人という狭き門となりました。

「自分には程遠い賞だと思っていたので驚きました」と話す佐藤さんは、小学2年生の冬から町内のペン字教室『ペン遊会』（星冬<sup>hoshiyu</sup>純代表）に通っています。「字をきれいに書きたい」という思いと、楽しそうに通う友達姿がきっかけといいます。大島さんは、小学2年生の秋から同教室に通っています。「将来に役立つ」と両親に勧められ、「やってみたい」と興味を持ちました。

大島さんは、小学2年生の秋から同教室に通っています。「将来に役立つ」と両親に勧められ、「やってみたい」と興味を持ちました。受賞については「自信がなかった分、本当につれしいです」と話してくれました。大島さんは、小学2年生の秋から同教室に通っています。「将来に役立つ」と両親に勧められ、「やってみたい」と興味を持ちました。受賞については「自信がなかった分、本当につれしいです」と話してくれました。



受賞を喜ぶ星先生(写真中央)。「二人とも努力家で、粘り強く取り組んでいました。本当に良く頑張りました」。